

## 平成30年度 事業計画

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

一般社団法人吉田町シルバー人材センターの平成30年度事業計画を次のとおり定める。

当シルバー人材センターは、平成3年11月に発足し任意団体として19年間、平成22年4月からは一般社団法人に移行し9年目を迎えました。この間、会員の献身的な努力と関係者各位の御理解、御協力を賜り順調に事業を推進してまいりました。

吉田町は、安全・安心の確保をする為の地震・津波防災対策として、「東海地震」、「東南海地震」、「連動する地震」等で想定される津波に対し、吉田港東側の川尻地区海岸道路沿いに防潮堤兼多目的広場（海浜回廊）を建設中ですが、平成29年度にはその一部が姿を現しました。

吉田町において、ここ数年来から引き続き近隣内陸の市部への転出や総体的な人口減少、少子化への危惧がある訳ですが、一方では、高齢者人口増加など本格的な高齢化社会への社会情勢の変化が一層顕在化しております。そのような状況に対応して、吉田町は「豊かで勢いがあり、心を魅了する」まちづくりを目指しています。また、将来の社会生活に不安を抱える人が増えている状況に対しては、介護やワンコインサービスなどの社会保障体制の充実と安定化も目指しています。

今後10年以内に団塊の世代が後期高齢者となる現状を抱えている中で、吉田町では人口減少（社会減傾向）の克服、地域の自立的持続的な活性化に向けた5か年計画を策定・実施しております。その中で、基本目標として「自立高齢者割合」を86.6%に設定し、高齢者の健康づくりや生きがいづくり施策の推進、社会参加、地域活動へ参加しやすい環境の整備や就労への支援を図る事を基本的な方向として位置付けています。そして、健康長寿のまちづくりと、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう目指していることが判ります。高齢者が、住み慣れた吉田町で個人として尊重され、生きがいを感じて安心した生活を送ることができるようになる為、シルバー人材センターの活動や生涯現役人材バンク事業は、まさに高齢者の社会参加と生きがいづくりの重要な役割を担っているとと言えます。

シルバー人材センターは、高齢者の生きがいづくり、社会参加活動への支援、就業機会の確保と提供をする役割を期待されています。安全・適正就業対策を具体的に実行し、会員が安心できるように致します。厳しい状況の中、町内事業所をはじめ町民各位並びに町当局の深い御理解並びに会員各位の御協力をお願い申し上げます。基本方針、事業実施計画の具体化に努めてまいります。

## I 基本方針

- 1 支援と就業機会の拡大及び会員の拡大
- 2 安全・適正就業対策の推進
- 3 地域班組織の定着と充実
- 4 福利厚生事業等の充実
- 5 社会参加活動として奉仕活動等への参加促進
- 6 ホームページ等による情報発信

## II 事業実施計画

### 1 支援と就業機会の拡大及び会員の拡大

シルバー人材センターは、高齢者が健康で意欲と能力のある限り、年齢に係わりなく働き続ける事が出来る「生涯現役社会」を実現するために、多くの高齢者に対し、生きがいつくりや社会参加への支援と就業機会の確保、提供をする事が重要で、会員の拡大と両輪の取組みであることを踏まえ、次の業務を推進する。

- (1) 生きがいつくり、社会参加活動支援の一環として、同好会活動への参加や地域イベント等への参加とセンターの広報活動
- (2) 入会説明会を適宜実施する（平成31年までの会員数目標：330人）
- (3) 就業に繋がる会員向けキャリアアップ講習への参加促進
- (4) 職域の拡大（介護支援、子育て支援等）
- (5) 顧客満足度をアップするため、仕事の品質の検証と対策
- (6) 町当局との連携、企業や家庭等の訪問により就業先の開拓

### 2 安全・適正就業対策の推進

会員の安全・適正な就業は、事業運営の基本であり、就業中の事故あるいは就業場所への途上や帰宅の途上における交通事故等は全力をあげて防止に努めなければならないことから、次の業務を推進する。

- (1) 安全就業に関すること
  - ア 安全・適正就業対策委員会を中心として、安全パトロールや研修会を実施し、安心・安全・事故ゼロの就業を推進する。
  - イ 会員の技能・技術・知識の向上を図るため、実践的で効果のある講習会を実施するとともに職種別後継者の育成に努める。
- (2) 適正就業に関すること
  - ア シルバー人材センターは、公的な目的に基づいて設立された法人であり、法令遵守及び適正な事業運営が求められていることから、シルバー事業の基本的仕組みを会員、発注者、地域住民等へ周知を図る。

### 3 地域班組織の定着と充実

平成29年4月1日より施行となった地域班を具体的に運用して行く上で、地域班役員への更なる意識づけ、担当理事会役員によるフォローアップが必要で、他のシルバー人材センターとの役員交流、視察や研修等の意識啓発に向けた取り組みが必要である。

各役員及び事務局が一丸となって、次の業務に取り組む。

- (1) 視察や研修等で得られた情報、経験を活かして、個々の会員に対して、地域班活動でどんな事をするのか、何ができるのかを伝えていく。
- (2) 運営面に関して、実際との整合を図りながら規程の改定も含めて、将来に向けて定着できるよう推進する。
- (3) 地域班が会員相互の繋がりを強め、会員の意見交換、交流を深める場となるようフォローする。

### 4 福利厚生事業等の充実

年々、会員の平均年齢が高まる現状を踏まえ、会員相互の繋がりや、生きがいづくり、健康づくりを促進し、社会参加活動への支援をするとともに、会員の趣味・特技を発揮する同好会活動を支援する。また、地域班活動や親睦旅行、忘年会を通じて会員同士の親睦を図る。

- (1) 地域班活動等の場で、会員相互の繋がりを強める。
- (2) 生きがいづくりや健康に良い同好会活動を支援する。
- (3) 地域により密着した親睦の場を作る。会員の参加しやすい行事の企画と運営を目指す。

### 5 社会参加活動として奉仕活動等への参加促進

シルバー人材センターの事業活動拠点である吉田町の地域社会に感謝の意を表すため、公共的な施設・公園への奉仕作業や社会福祉の啓発・交流活動、地域の観光催事への参加等積極的な社会参加活動を促進する。

- (1) 吉田町庁舎周辺の生垣の刈込み、除草。
- (2) 県立吉田公園でのチューリップ球根植付け。
- (3) 社会福祉施設『はあとふる』主催の「ふれあい広場」へ参加。
- (4) 観光協会主催の「小山城まつり」に参加。
- (5) 学校応援団へ協力し吉田町内小中学校の樹木の剪定、除草。
- (6) 吉田町内3小学校新入生への交通安全マスコットの寄贈。

### 6 ホームページ等による情報発信

タイムリーな情報の更新を行い、公開すべき情報と管理すべき情報についてメリハリを付けた内容にする。

現在のホームページは、以下の項目がより充実されたものになっている。

- (1) ホームのメニューが分かり易く、新規入会や仕事依頼等のページを表示しやすい。
- (2) メールでの問い合わせ対応することにより、顧客及び会員からの要望、意見を確実に入手できる。
- (3) 個人情報に関わることは、会員専用ページとなっている。  
会員は、パスワード入力で専用ページの情報が閲覧可能。
- (4) センターの定款及び事業計画と事業報告を公告できる。

平成30年度 主要行事及び会議の開催予定

時期	主要行事	理事会 地域班	安全就業対策委員会
4月	小学校新1年生への交通安全 グッズ寄贈	第1回 地域班連絡会	
5月	監事：決算会計監査	第1回理事会	第1回委員会
6月	第9回定時総会	臨時理事会	
7月	財政的援助団体監査 (吉田町監査委員) 奉仕作業(役場庁舎周り) 安全・適正就業推進研修会		第2回委員会 安全パトロール
8月		第2回理事会	
9月	会員親睦旅行		第3回委員会
10月	ふれあい広場への参加 第1回Gゴルフ大会	第3回理事会	
11月	小山城まつりへの参加 奉仕作業(吉田公園)	第2回 地域班連絡会	第4回委員会 安全パトロール
12月	忘年会	第4回理事会	
1月	第2回Gゴルフ大会	第5回理事会	第5回委員会
2月	監事：業務監査 役員等研修会 会員継続調査、理事長面談	第6回理事会	
3月	庭木剪定講習会 庭木・草刈り班合同研修会	第7回理事会 第3回地域班連絡会	第6回委員会